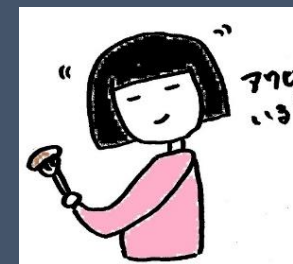


水産庁業務説明会資料

# 水産庁

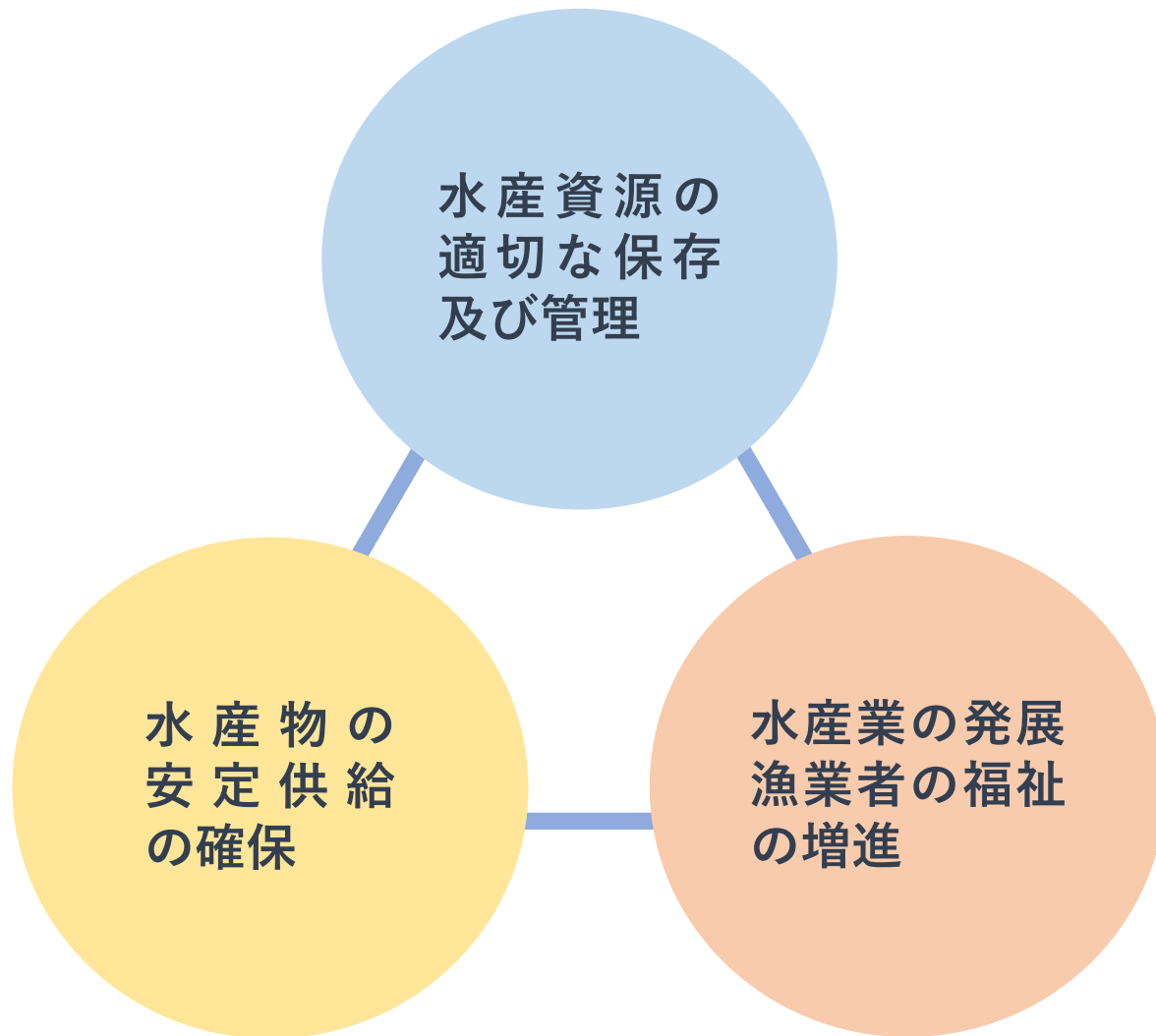
ってどんなところ？

令和 8 年 4 月  
水産庁瀬戸内海漁業調整事務所



水産庁公式ブログ  
キャラクター  
ねねさん

# 水産庁の任務



水産庁は、**漁業生産活動**だけでなく、水産物の**流通・消費**から**漁港・漁村**に関することまで、水産に関する幅広い行政分野を任務の対象としています。

# 水産庁の職員数

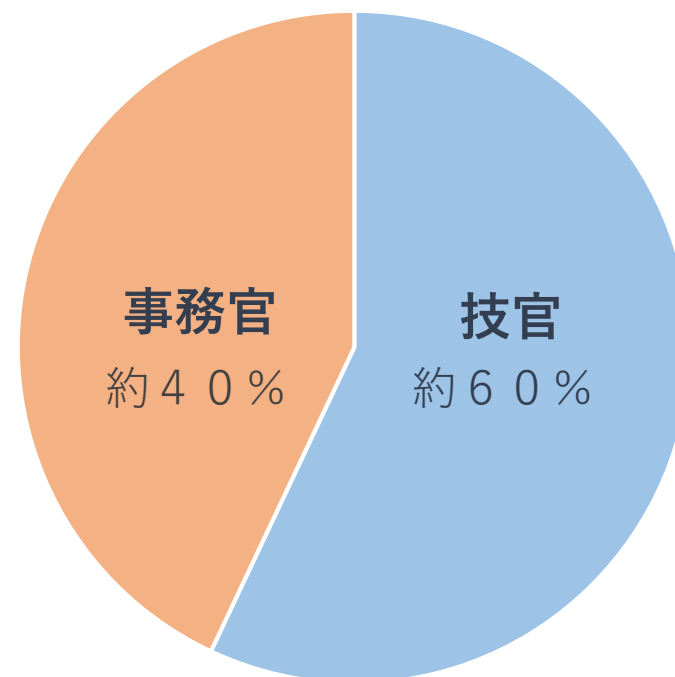
定員数は**731人**

本庁：555人

漁業調整事務所：176人

※その他本庁に属する海事職の定員275人

(R8年度末)



それぞれの専門性により、事務官は事務系、技官は技術系のポストが多い傾向にありますが、水産庁では、個人の特性を見ながら配置しています。

# 水産庁の組織

水産庁長官

水産庁次長

## 漁政部

漁政課

船舶管理室

企画課

水産業体質強化  
推進室

水産経営課

指導室

加工流通課

水産流通適正化  
推進室

水産物貿易  
対策室

漁業保険管理官

## 資源管理部

審議官

参事官

管理調整課

資源管理推進室

沿岸・遊漁室

国際課

捕鯨室

かつお・まぐろ  
漁業室

海外漁業協力室

漁業取締課

外国漁船対策室

漁獲監理官

## 増殖推進部

参事官

研究指導課

海洋技術室

漁場資源課

生態系保全室

栽培養殖課

内水面漁業振興室

## 漁港漁場整備部

計画・海業政策課

海業振興室

事業課

防災漁村課

水産施設災害  
対策室

## 漁業調整事務所（6ヶ所）

北海道（札幌市）

境港（境港市）

仙台（仙台市）

瀬戸内海（神戸市）

新潟（新潟市）

九州（福岡市）

# 水産庁の仕事

## 業務内容は多岐にわたる

国内業務	加工流通、資源管理、漁業取締、漁業調整、研究開発、漁業振興、漁港漁場整備 等
国際業務	二国間交渉、地域漁業管理機関での多国間交渉、海外漁業協力 等

## 活動の範囲は広い（水産であればどこでも！）

国内業務	北海道（稚内、根室..）から沖縄（本島、与那国..）まで全国各地 漁業者と直接対話することも多々あり
国際業務	アジア、欧米、中南米、アフリカ、オセアニアなど世界各地 他国の人と直接対話することも多々あり

# 求められる人材

- ・ 新たな課題にも積極的に取り組むことができる人物
- ・ 周囲の人と力を合わせ、仕事をやり遂げることができる人物

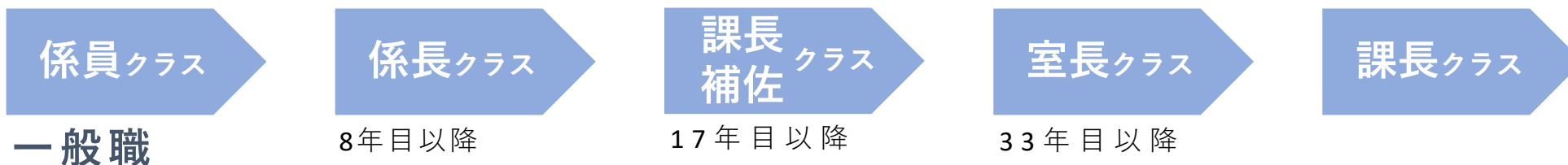
試験の合格順位よりも面接を重視し、  
出身大学や専攻分野は関係ありません。

# キャリアパス

入庁後は、概ね2年程度のサイクルで異動します。水産庁本庁、漁業調整事務所のほかにも、農林水産省の他部局、地方自治体、他省庁、在外公館、他機関で勤務する者も多数です。

- ・本庁（霞が関）を中心に勤務
- ・漁業調整事務所勤務、地方自治体への出向で地方勤務をする人も
- ・大使館・領事館、国際機関への出向で海外勤務になる人も
- ・専門知識を活かしエキスパートになる人も

## 総合職



# 先輩からのメッセージ

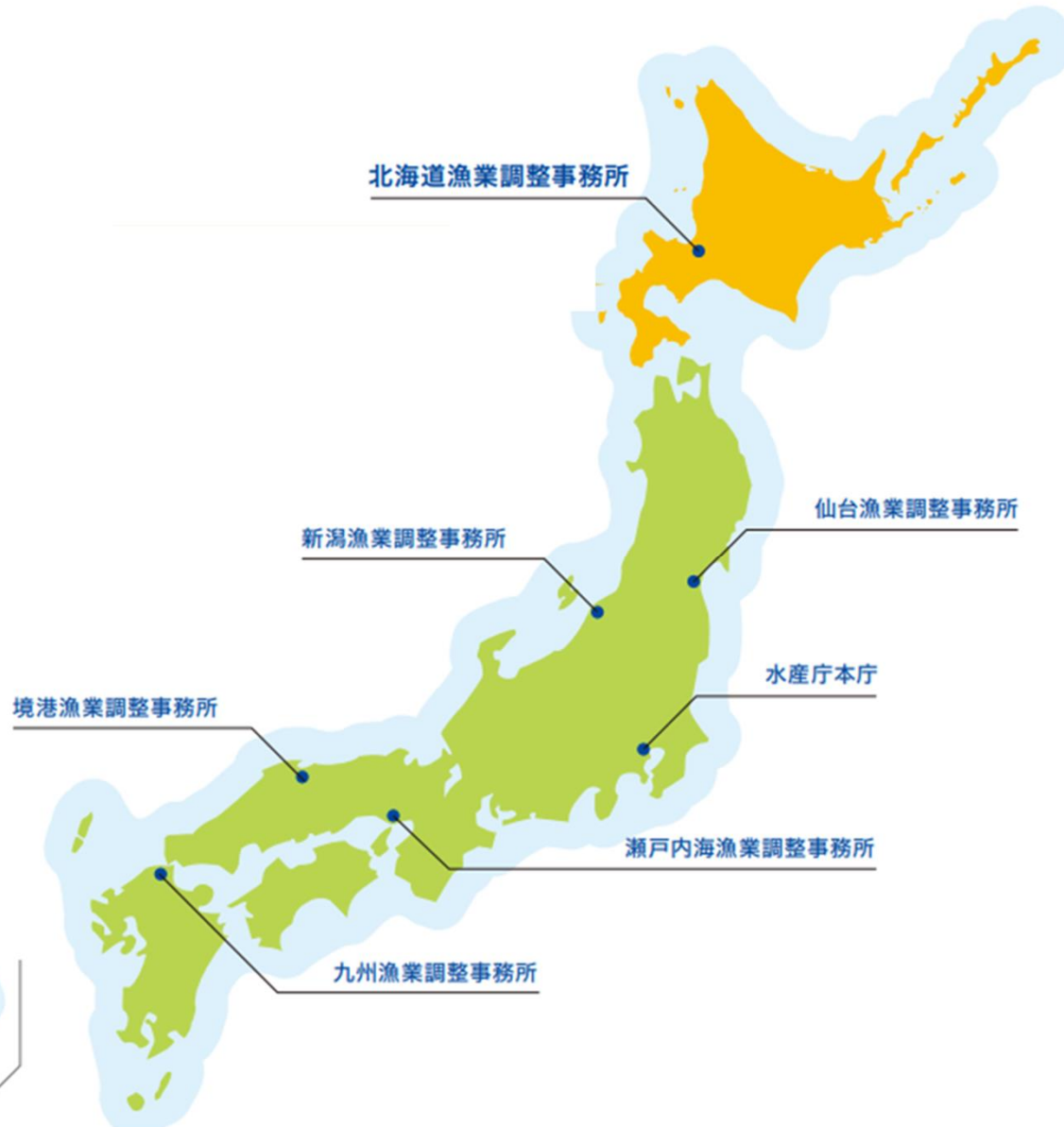
## 一般職行政(R7年入庁)K先輩

漁政課船舶管理室で海事職員の労務管理業務を担当しております。業務内容は、漁業調査及び取締航海に係る船舶との連絡・調整業務や海事職員の人事管理等多岐に渡ります。業務を通して、日々多くの学びがあり、充実した日々を送っています。水産庁では研修への参加を後押しする雰囲気があり、入庁半年ですが、様々な研修を受講させていただきました。また、休暇取得のしやすい空気感もあり、先日は事務系、海事職の先輩・同期と年次休暇を活用し、旅行へ行ってきました！皆様の業務説明会及び官庁訪問へのご参加を心待ちにしております！

## 一般職行政(R7年入庁)M先輩

国際課で職員の外国出張に係る手配、各国行政官を対象とした水産関連の研修での講義や視察の実施、他国の水産大臣等が訪日した際の表敬対応、関係する国際会議への出張等の業務を行っています。水産の知識はほぼゼロでしたが、幼少期から海が好きで、また水産庁の暖かい職場の雰囲気に惹かれ入庁しました。業務を通じて学ぶ機会も多く、水産庁でしか経験できない行事もたくさんあります。周りには経験と知識が豊富な先輩職員がいますので、少しでも興味がある方はぜひ説明会に来ていただきたいです！

# 漁業調整事務所について



漁業調整事務所は  
全国で **6ヶ所**

## 任務

漁業に関する指導、漁業の取締り、  
その他漁業調整

水産資源の保護及び培養



# 瀬戸内海漁業調整事務所

瀬戸内海漁業調整事務所は、水産庁の地方支分部局の一つで、事務所は神戸市中央区にある神戸地方合同庁舎にあります。

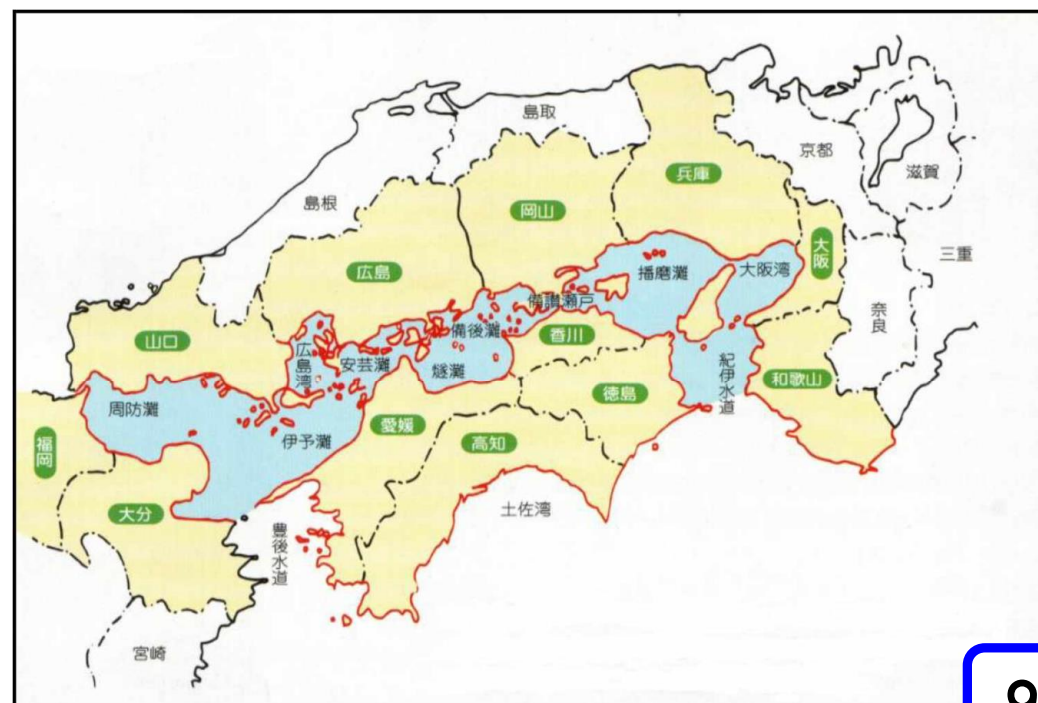
当事務所の管轄水域である瀬戸内海等の水域は、多くの島々や入り組んだ海岸線により、豊かな漁場が形成され、各府県の漁業者が多種多様な漁法により入り合って操業を行っているほか、内海特有の静かな海面では養殖業が盛んに営まれています。

瀬戸内海漁業調整事務所は、資源水準に見合った適切な漁業がおこなわれるよう管轄区域において、

- 1.複数県にまたがる漁業調整
- 2.水産資源の保護培養や管理、漁場の保全等
- 3.漁船の指導取締り

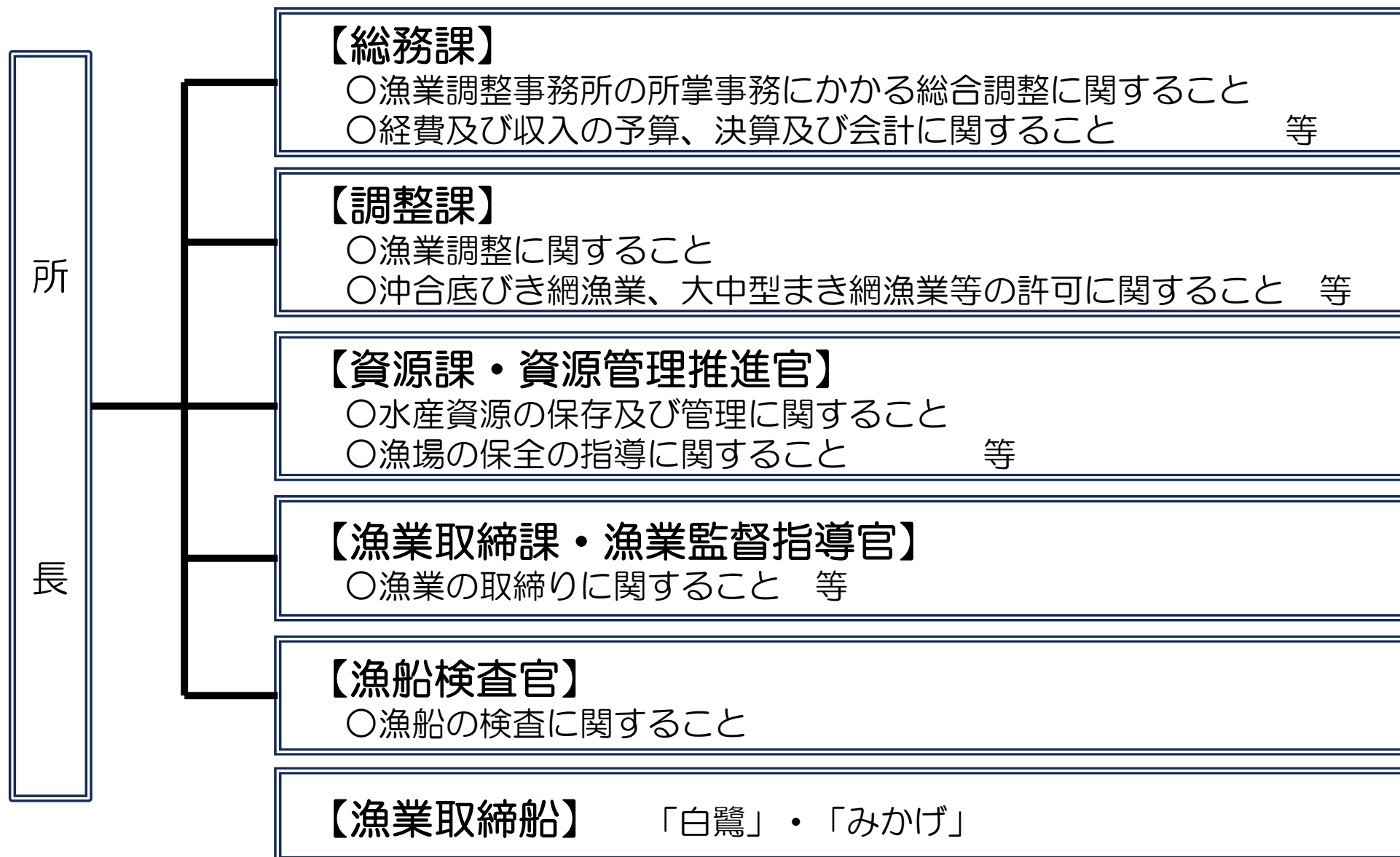
を実施しています。

瀬戸内海漁業調整事務所の主な管轄区域は、瀬戸内海の海面（青色部分）及び和歌山県、徳島県、愛媛県及び高知県の地先海面（赤線部分）



# 【瀬戸内海漁業調整事務所の組織】

(職員数 (R8.4.1現在) : 事務職 9 名、技術職 9 名、海事職 15 名)



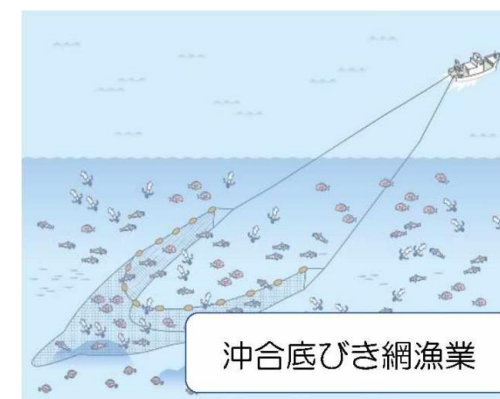
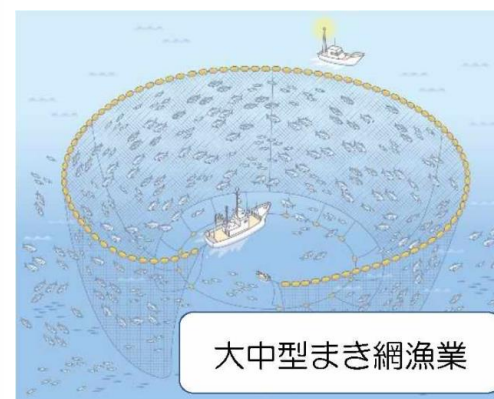
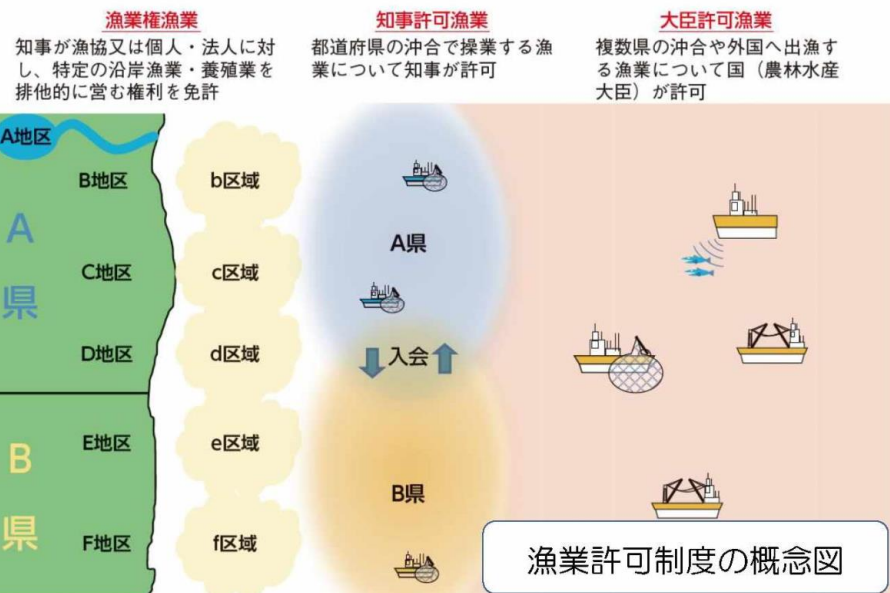
# 【瀬戸内海漁業調整事務所】 調整課の業務

## 1. 漁業調整

- ・伊予灘、播磨灘等の海域において、府県間にまたがる操業が秩序を維持して円滑に行えるよう「漁業調整」を行っています。
- ・また、瀬戸内海に広域的に分布・回遊する水産資源の管理や漁業調整を目的として設置された「瀬戸内海広域漁業調整委員会」の事務局の事務を行っています。

## 2. 漁業の許可

- ・農林水産大臣が行う漁業の許可等の事務を行っています。
- ・管内で営まれている大臣許可漁業には「大中型まき網漁業」や「沖合底びき網漁業」があります。



# 【瀬戸内海漁業調整事務所】

## 資源課の業務

### 1. 水産資源の管理の推進

近年、減少傾向にある水産資源は、適切な管理を行うことにより持続的な利用が可能です。このため、資源評価に基づき、持続的に採捕可能な最大の漁獲量(最大持続生産量(MSY))の達成を目標とした新たな資源管理の導入に向け、関係者との連絡調整、意見交換等を行っています。

### 2. 漁場の整備

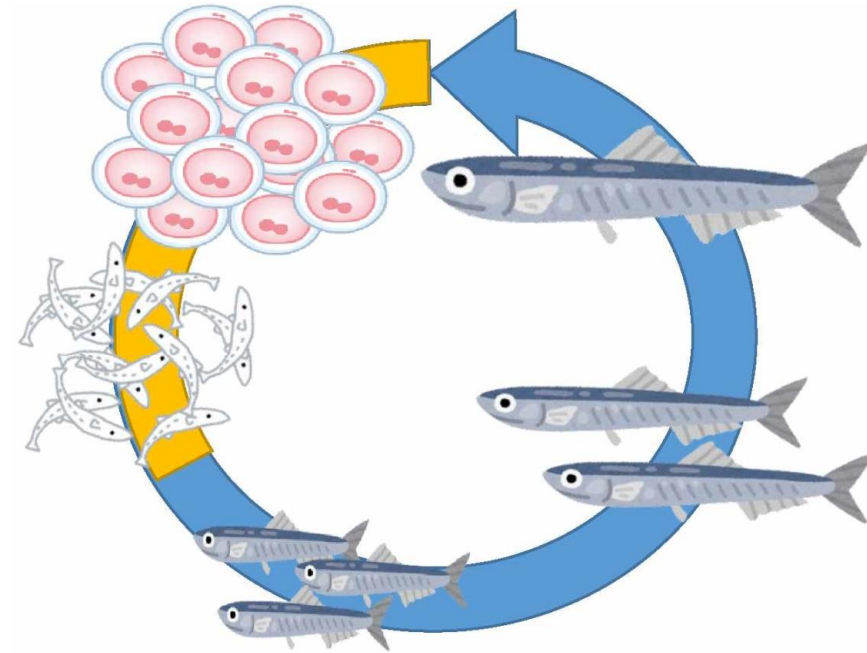
豊かな生態系の創造と海域の生産力向上を図るため、漁場環境の変化への対応や水産資源の生活史に配慮した広域的な漁場整備を推進するとともに、関係府県に対する指導・助言を行っています。

### 3. 沿岸漁業等の振興

漁船漁業や養殖業等の沿岸漁業等について、漁業収益力や水産物流通機能の強化のための共同利用施設、種苗放流・環境整備等、水産資源増大に向けた施設等の整備を通じて、漁村地域の再生や振興を図るために関係府県等に対する指導・助言を行っています。

### 4. 漁場環境の保全

赤潮による漁業被害の防止と軽減を図るため、関係機関と相互連携し、瀬戸内海におけるキーステーションとして赤潮の発生・被害状況等の情報を収集・伝達を行っています。  
また、瀬戸内海において油等の流出事故が発生した場合は、関係機関と連携しながら情報の収集・伝達を行い、漁業被害の防止に努めています。



## 漁業監督課の業務

### 漁業に関する指導取締り

漁業の秩序を維持し水産資源の適切な保存管理を図る必要があります。そのため、高速漁業取締船「白鷺」、「みかげ」及び航空機を配備し、瀬戸内海及び紀伊水道から豊後水道までの海域において漁業取締りを行っています。また、違反の広域かつ巧妙化に適正に対応するため、関係府県漁業取締船との連携取締りを行っています。



漁業取締船 白鷺



漁業取締小型航空機



操業中の漁船に対する指導



漁業取締船 みかげ



違反漁船へ向かう白鷺と搭載艇



違反漁船への立入検査

# 採用情報

## 瀬戸内海漁業調整事務所の採用情報

<https://www.jfa.maff.go.jp/setouti/joinus/recruit/index.html>

## 水産本庁の採用情報

<https://www.jfa.maff.go.jp/j/recruit/>

お気軽に  
お問い合わせください！

